

電子機能水

広島事務所 本格始動、国内最大の生成工場も本格稼働

一般社団法人 地球環境改革再生機構 代表理事 太田雄一

●二〇二〇年七月二十六日、広島市において新事務所がオープンしました。
一階(二〇〇㎡)、四階(一〇〇㎡)のトータル三〇〇㎡の面積があり、①十二台の生成装置を見る事ができる生成デモ工場 ②研修・イベントルーム ③事務室 ④会議室 ⑤応接室 ⑥備品倉庫とに区分されています。



生成工場横の事務所全景です。



10 台の電解電子機能水生成装置が設置され、1日20トンの電解電子機能水「ECOMIZER」が生成されます。(国内最大規模です。)



4 階に設置した会議用の部屋です。広々とつくりました。今後、良質の商談を数多くこなしていく予定です。



最大約 50 名を収容することができます。各種イベントや会議に使用していきます。新型コロナウイルス対策も万全です。



広々とした4階のVIP Roomです。

この広島事務所(Hiroshima Office)は、日本国内だけでなく海外からの来客や研修・教育にも用いられるため、全てを余裕のある大きなコッターとしたスペースとしています。

●オープン記念として、七月二十六日(土)・二十七日(日)の両日に渡り計三回のオープニングセレモニーを行いました。

会場は研修・イベントルームとし、本来は五〇名程度入れるのですが新型コロナウイルス対策のため、各回三〇名ほどに制限させていただきました。ソーシャルディスタンスの厳守や電解電子機能水の噴霧などで新型コロナウイルス対策を確実に行うことで、しっかりと防疫を行うよう努めました。



カンボジアにおける電解電子機能水農法の現状、中国での現状を映像化した「甦れ、大地の力！」version.1 を制作して、世界で初めて多くの方々に披露させていただきました。



7月25日・26日の両日にわたり約90名の方々をお招きしてオープニングセレモニーが開催され、プロモーションビデオの上映、記念講演が行われました。



パーティー会場では、シャンソンおよびマジックショーなど、多くの方々喜んでいました。関東方面からも20名以上の参加で、素晴らしい式典となっていた。



1階イベントルームのパネル展示 カンボジア(ドリアン)、中国(サクランボ・リンゴ等)、メキシコ(アボカド)、インド(マンゴー)

●電解電子機能水[®]について

電解電子機能水は一般的な電解水とは全く異なるものです。

◎「純水」「油」「ジクロロベンゼン」などのような絶縁体にも電気を通し、分解する事ができます。

◎硫酸、塩酸といった酸、苛性ソーダのようなアルカリの分解、無害化が可能です。

◎NOx、SOx、PM2.5を無害化する事ができます。

◎アオコを分解し、湖沼の水質改善が可能です。

電解電子機能水は現在、日本、中国、東南アジア、^①諸国、メキシコ、アメリカ等で広範に利用されています。

地球環境改善の切り札のような技術です。すでに三六項目のテストを終了し、私たちはその結果を待っています。

このような小さな簡便な装置によって多くの環境問題が解決できるとしたら、これほど痛快な事はありません。



環境改善装置「UH-1 B型」